

**製品名: DNAJB6 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01918**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DNAJB6
別名	DJ4; MRJ; DnaJ; HSJ2; HHDJ1; HSJ-2; MSJ-1; LGMD1D; LGMD1E
遺伝子 ID	10049
SwissProt ID	O75190
免疫原	ヒト DNAJB6 の組み換えタンパク質

**背景**

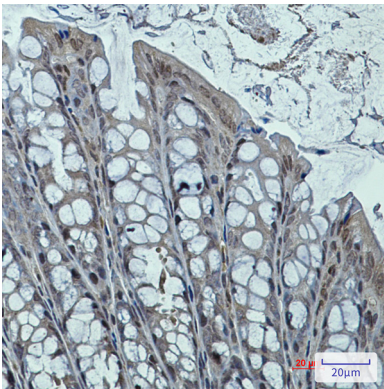
KRT8/KRT18 フィラメントの組織化に不可欠な役割を果たす。ハンチンチンを含む神経タンパク質の内因性分子シャペロンとして作

用する。ポリグルタミンを含む凝集しやすいタンパク質の凝集と毒性を抑制する。アイソフォーム B はハンチンチンの凝集を阻害するが、アイソフォーム A は阻害しない。HSP70 の ATPase 活性を用量依存的および時間依存的に刺激するため、HSP70 のコシャペロンとして機能する。また、細胞毒性およびカスパーゼ 3 活性を低下させる。

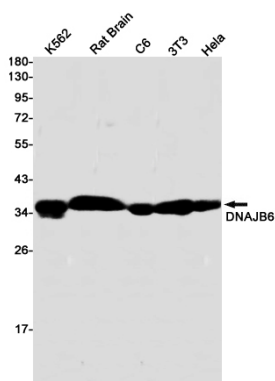
## 研究分野

神経科学

## 画像データ



DNAJB6 抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原回復には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



DNAJB6 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の DNAJB6 のウエスタンブロット分析。